

# 指定管理者制度の現状

6月議会に、165施設で、限度額合計105億8,164万円の指定管理料の予算

## 公募施設の6割が「民間企業」への指定管理

今回予算として提案されている165施設のうち、公募施設は33施設、そのうち20施設が民間企業です。企業による指定管理は、様々な問題点が指摘されています。

### 「指定管理者制度」とは？

「公の施設」の管理運営を民間へと委ねるものです。指定先は、公社等から株式会社まで様々です。

国際交流会館	国際交流事業団	5年・非公募	8億2,600万円
祖崇廟納骨堂	シルバー人材	3年	450万円
現代美術館	美術文化財団	5年・非公募	14億9,950万円
白川公園内複合施設	企業体	5年	5億2,350万円
南部在宅福祉センター	事業団	3年	4,950万円
東部在宅福祉センター	企業体	3年	5,040万円
植木健康福祉センター	企業体	5年	2億4,570万円
老人福祉センター(6カ所)	社会福祉事業団	3年	2億2,290万円
老人憩の家(127カ所)	運営委員会	5年・非公募	3,069万円
高齢者技能習得センター	シルバー人材	5年・非公募	2,550万円
希望荘	事業団	5年	4億200万円
託麻東部会館	運営委員会	3年・非公募	94.5万円
西部交流センター	企業体	3年	1億5,510万円
三山荘	戸島保全協会	3年・非公募	4,650万円
社会体育施設(10カ所)	スポーツ財団	5年	60億9,400万円
城南地域物産館	株式会社	5年	100万円
花畑広場(3施設)	企業体	5年	1億2,100万円
中心市街地駐輪場(5カ所)	株式会社等	3年	2億2,200万円
武蔵塚駅前駐輪場	企業体	3年	6,090万円

## 民間企業の儲けに「公の施設」が利用されている指定管理

### サービス向上より「企業の儲け」

民間企業に「公の施設」の管理運営を委ねれば、必ず企業の利益が必要になります。

### 非正規雇用が広がる要因に

企業利益のために削られるのは人件費で、非正規職員が中心になります。加えて3~5年での更新となるために、専門性確保が難しく、引いてはサービスの低下につながります。

### 公のチェックが難しい

いったん民間へ委ねると、直営のように直接チェックすることが難しくなります。

### 大規模施設「非公募」の問題点

現在美術館や国際交流会館は、その専門性や役割から「公募」であったものが「非公募」になりました。しかし、市職員の天下り先になってしまっているのは問題です。

### 【控室から】 災害への備え

上野美恵子

連日いたるところで、大雨情報が聞かれる季節を迎えています。「線状降水帯」も、聞きなれた言葉になりました。災害多発の時代を迎え、その備えが本当に重要だと思えます。

有識者会議答申を受け、市長が「建替える方針です」と表明した市役所建替え問題でも、有識者会議では、防災も一つの観点として、論議されています。市役所が防災拠点として機能を維持するためにはどうあるべきか、重要な課題です。しかし、現庁舎も、移転先の一つとされている白川公園も、熊本市の洪水ハザードマップでは、屋外での避難行動が不可能となる浸水深です。市役所の防災機能維持とともに、地域全体が水没するとなっている中心市街地の浸水対策も喫緊の課題ではないでしょうか。

市庁舎問題学習会の参加者から、「市庁舎建替えも大事かもしれないが、市民生活を守る防災対策に力を入れてほしい」との声がありました。庁舎の防災問題では、「防災拠点の確保とともに、地域分散型の防災拠点づくりが必要」との指摘もあります。住民の安心安全のため、市の総合的対応が求められています。

## 日本共産党 熊本市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1  
発行：日本共産党熊本市議

NO. 1327  
2023年6月25日号  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
HP：共産党 熊本市議団



検索



上野みえこ  
(中央区)



いせり栄次  
(東区)



# 市庁舎建替え 市民の目線で考える、「建替える方針」の市長判断

・・・ 熊本市民連の「庁舎建替え学習会」に寄せられた市民の声 ・・・

有識者会議答申に基づき、市長が「建替える方針」を表明したのを受け、6月18日、熊本市民連絡会主催で「庁舎整備に関する学習会」が行われ、党市議団から報告を行いました。



## 現庁舎は「文化財の宝庫」、壊してほしくない！

市は、過去にも花畑別館や水道局庁舎など、歴史的価値のある建物を壊してきた。

の美術作品が採り入れられて建設されている。財産と言える素晴らしい建物を壊してほしくない。

市役所本庁舎にも、たくさん

くない。

## 市民の願いは福祉・暮らし、市庁舎建替えは誰のため？

「物価が上がって、年金は下がっているのに、市長はそんな市民の実情を考えずに「市役所を建替える」と言っている。

桜町再開発に450億円使っ

た時はできた豪華マンションに市長の住居ができて、今度は430億円で自分の執務室を綺麗にするのか、誰のための市役所建て替えかと思う。

## 中心市街地に数少ない都市公園をなくしていいのか？

移転先の一つに「白川公園」が上がっているが、熊本地震の時は、あの場所に何千人もの人

が避難した。中心街に数少ない広い公園を安易になくしていいのでしょうか？

## 市民の声を聞かず、なぜ急ぐ？

私たちは納得していないのに、なぜ市長は建替えを急ぐのでしょうか。今後、どう進んでいくのかもわからない。

## 一番問題なのは、「非公開」

市役所建替えで一番問題なのは、耐震性能分科会の「非公開」だと思う。建替えの必要性に納得できないのに「建替える方針」ですすめるのはおかしい。



議会棟3階ロビー  
「薫風」 岡 周末

### 【市役所内に配置されている美術作品】

- 1階吹抜腰壁のブロンズ 「炎」 坂本善三
- 1階展示ホール壁面の金属・石・ガラスによる 「城」 三浦洋一
- 1階展示ホールのブロンズ像 「やすらぎ」 柳原義達
- 1階市民ホール壁面の陶板 「森の詩」 村上賢秀
- 議会棟エントランスホール壁面の大理石 「干潟」 中原宏
- 東玄関外の壁面・花崗岩の陶板 「火口壁」 生田義廣
- 2階壁面・ブロンズ 「連帯」 坂本善三
- 議会棟3階ロビー・ガラスモザイク 「薫風」 岡周末
- 議場正面・銅板による金工 「壮樹」(構成)野崎謙三(金工)石崎友紀
- 5階第1応接室 アクリライト 「光華」 多田美波
- 5階ロビー 金属 「城」 三浦洋一
- 14階ホール 特殊組紐「チューブ・コンストラクション」沢田麗子
- 14階大ホール緞帳 「茜」 坂本善三
- 14階食堂天井 リフレックスとガラス「星雲」 多田美波
- 地下1階食堂壁面 陶板 「熊本の祭り」 坂田憲雄
- 議会棟玄関外の彫刻(御影石) 「空相一森」 関根伸夫

\*この他、議会棟や5階市長室等の入り口引手の七宝「肥後六花」なども含め、建物本体から外構まで、様々な美術作品が随所に採用されています。